

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス系満教室		
○保護者評価実施期間	令和8年2月18日		～ 令和8年3月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和8年2月13日		～ 令和8年2月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月18日		～ 令和8年3月5日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援と児童発達支援、放課後等デイサービスを併用していることから、保育園や学校生活と事業所での過ごし方を比較して評価することができます。	訪問前に児童の様子についての話し合いを持ち、最近の様子を把握してから訪問しています。訪問後は職員間で振り返りを行い記録として残し、次の支援に繋げるように努めています。	先生と連絡調整を密に行い、信頼関係を築くことで支援の質が高められる環境づくりをしていきます。
2	保育士、児童指導員、作業療法士など様々な職種の職員が揃っており、情報共有をしながら支援方法を模索することができます。	様々な職種からの専門的視点からフィードバックを行うことができます。	支援開始前の打ち合わせをしっかりと行うことで連携を図り、よりよい支援を行えるようにします。
3	法人内にて多数の姉妹教室を運営しており、教室の困り感や情報共有を行う事で療育の幅を広げることができます。	月に一度、保育所等訪問ミーティングを開催しており、いろいろな事業所との勉強会や意見交換を行っています。	職員の交換留学やオンラインも活用した研修機会を増やしていきたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先の先生に報告する時間が十分に取れない点。	訪問先の先生は次の授業の準備や児童対応で多忙の為、よりよい共有方法や調整の仕方を検討していきます。	訪問終了後に調整を行うことが難しい為、口頭でなく文書だけの報告でもお伝えできるような工夫をしていきます。
2	保育所等訪問支援の要望が来た場合の職員数の確保。	当事業所に午前利用児童がいる日は職員配置の観点から保育所等訪問支援へ派遣する職員の人数が限られてきてしまいます。	訪問に行ける人数の確保と人材育成が課題です。また、新しい職員の為に保育所等訪問支援の同行経験や勉強会を実施し、訪問できる人材を増やす工夫が必要だと考えております。
3	家族間の交流ができていない点。	交流機会の不足や保護者の就業による時間的な制約があり開催ができていません。	保護者が予定を組みやすいよう早めに周知を行います。また、保護者の就業スタイルから参加しやすい時間帯を選び短時間で行っていきます。